

**農林水産大臣賞**  
きょうぎかい  
受賞者 さかがわ協議会  
(栃木県芳賀郡茂木町)

**【焼森（やけもり）山麓に妖精の杜 いい里ありて集う郷】**

**1 取組の動機と背景**

さがわ協議会が活動する茂木町逆川地区は、昔から「**恵澤洽著（けいたくごうちょ）の精神**」のもと、住民全体による近隣焼森山の森づくりが実施されていた外、若手住民で構成される「**元気アップ逆川会**」により地区を活性化するための会議を開催する等、団結力のある地域である。

平成9年以降、茂木町中央部では、「道の駅もてぎ」や「ツインリンクもてぎ」がオープンし、交流人口が年々増加していたが、南部の逆川地区では、26店舗あった商店が8店舗にまで激減するなど、過疎化が深刻化していた。

このような状況下、若手住民の「逆川地区に地域拠点を作っていい里にしたい」という声が町を動かし、「茂木町南部文化圏整備構想計画検討委員会」が設置され、地域活性化について本格的に検討していくことになった。

その後、平成18年に農家・非農家併せて70名によるさがわ協議会を設立、平成20年には農産物直売所、農村レストラン、農産物加工所の複合施設「**いい里さがわ館**」の管理運営を受託、現在では、地元農産物等を活用した特産品づくりや加工・販売、地域資源ミツマタの活用による誘客等、所得向上や就労機会創出につながる様々な取組を展開している。

**2 主なむらづくりの内容**

- いい里さがわ館の売上金のみでの自立した運営ができている外、年間売上額は令和元年度に過去最高(約1.4億円)を記録し、従業員に賞与を支給するなど地域経済の活性化に寄与。
- 耕作放棄地の拡大防止や農産物の生産振興を図るため、農産物周年安定供給、そば全量買い上げ、特別栽培米作付け及び食味コンクール出品によるブランド化の取組を行い、農産物生産者が大幅に増え、生産者所得やそばの栽培面積増加に寄与。
- いい里さがわ館の従業員29名中21名が女性で、直売所、そばレストラン、惣菜加工部、アイス部の4部門全て女性が店長を務めるなど、地元女性の雇用創出に寄与。
- 地域資源の洗い出しを行い、雑木に埋もれていた焼森山のミツマタ群生地に着目し、ミツマタ群生地の下草刈りや遊歩道整備等を約10年かけて実施し、交流人口の拡大に寄与。



いい里さがわ館



お米選手権特別優秀賞



各部門の女性店長



ミツマタ群生地遊歩道整備